

7月4日、予言から半世紀近くたって、とうとう素粒子「ヒッグス粒子」が発見されました。

世界中で大きく報道されたこの「ヒッグス粒子」とは、宇宙でどのような役割を果たしているのでしょうか？

そして、脊振が有力候補地となっている次世代の素粒子研究所とは、いったいどういうものなのでしょうか？

つくばの研究所(KEK)から講師を招いて宇宙の謎に迫ります！

Nikolaus Sulzenauer

国際リニアコライダーで ヒッグス粒子の謎を解く！

KEKキャラバン

平成 **24**年 **11**月 **10**日 **土**

開始 **13:00** (受付12:30) 終了 **15:10**

第1部「宇宙をつかまえるリニアコライダー」

KEK 藤本 順平氏

第2部「科学は娯楽!?～都市構想のめざすもの～」

福岡県 米澤 英彦氏

糸島市役所本庁舎新館501会議室
(糸島市前原西1丁目1番1号)

対象

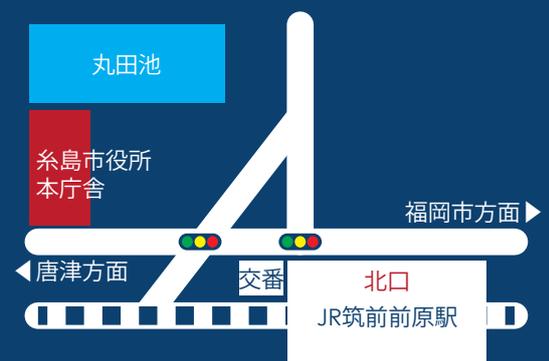
みなさま

参加費

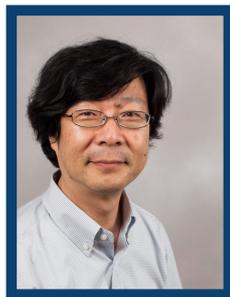
無料

*特に知識などは必要ありません

お気軽にご参加ください



【講師プロフィール】



<講師>

藤本 順平 博士

KEK (高エネルギー加速器研究機構) 素粒子原子核研究所 広報室

名古屋大学で博士号を取得の後、現在のKEKの前身である、高エネルギー物理学研究所に助手として入所。当時の主力計画であったTRISTAN加速器使ったTOPAZ実験グループで研究を行う。現在は高エネルギー加速器研究機構・素粒子原子核研究所・研究機関講師として、素粒子反応確率計算システム「GRACE」の開発に従事し、LHC実験、LC実験、SuperKEKB計画における各種素粒子反の精密計算を行っている。



<講師>

米澤 英彦 ILC担当主査

福岡県 商工部 新産業・技術振興課

九州大学大学院修了(素粒子理論)。特許庁で分析技術・診断技術の審査官を務めた後、福岡県庁において、九大学研都市構想策定、産学連携などに携わる。2011年からILC担当となり、国際研究都市構想「サイエンスフロンティア九州構想」の策定、広報活動を行なっている。

<司会協力>

吉岡 瑞樹 助教

九州大学 理学研究院 物理学部門 素粒子研究室

【お申し込み方法】

参加を希望される方は、電話もしくはFAXにてお問合せください。

TEL: 092-332-2080

FAX: 092-324-2531

※事前申し込みが必要です。

【お問い合わせ先】

糸島市役所経済振興部企業立地課

TEL: 092-332-2080

【FAXでお申し込み】

092-324-2531

糸島市役所経済振興部企業立地課行き

代表者名: _____

代表者住所: _____

参加者名: _____

連絡先: _____